

# 北海道の皆様への節電のお願い と 各主体の取組状況について

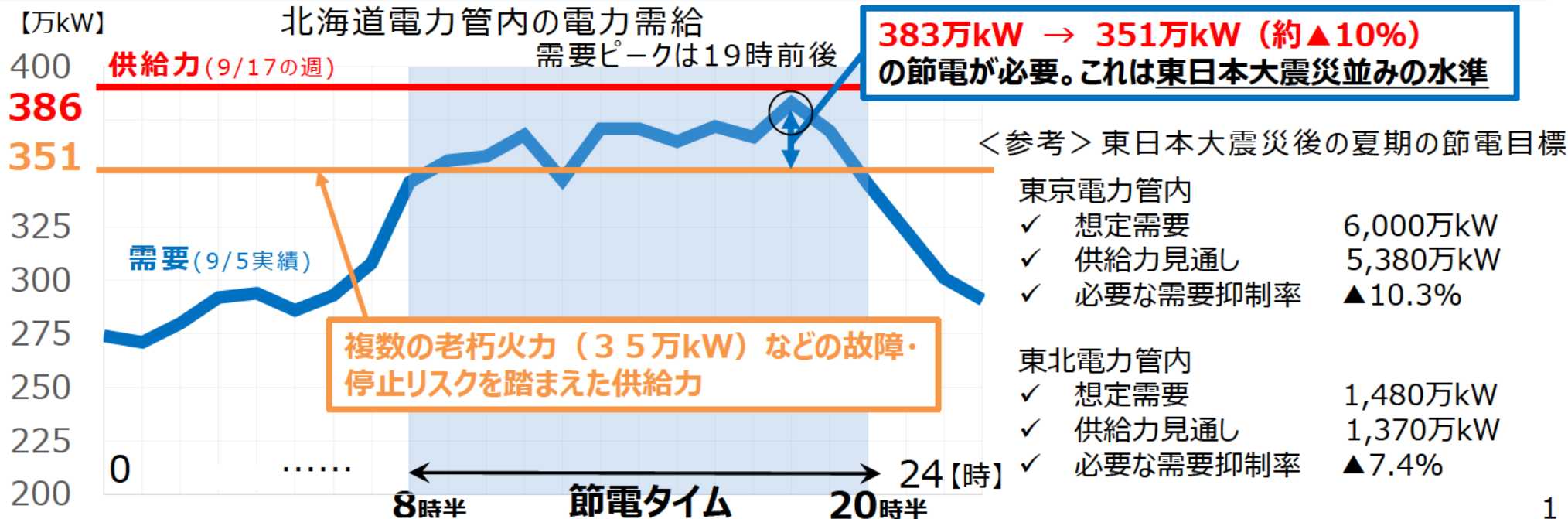
平成30年9月14日

資源エネルギー庁

# 1. 北海道における節電のお願いのポイント

- 9月において、**電力需要が増加するのは平日8:30～20:30(節電タイム)**です。
- これまでに供給力に一定の上積みができたものの、老朽火力発電所のトラブル停止の可能性があり、厳しい需給の状況が継続します。引き続き、**国民生活や企業の生産活動に過度な影響が生じない形で、節電タイム(平日8:30～20:30)に北海道内で電気の使用量1割減に向けたできる限りの節電のご協力をお願いします。**(P. 3～5の対策をお願いします)。
- 一方で、これまでも過度な負担なく、十分な節電が実施できている方には、引き続き、そのような対応の維持をお願いします。
- なお、土日祝や、節電タイム以外の夜間・早朝の時間帯においては、節電を気にされることなく、普段通りの生活・企業活動をぜひお願いします。

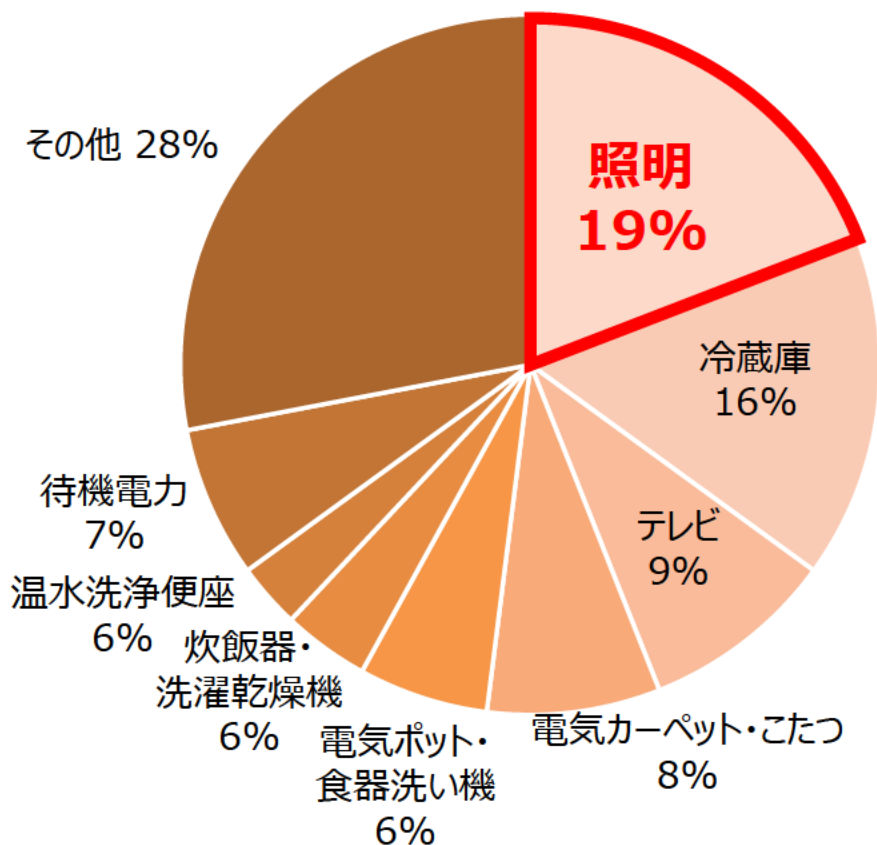
※大型電源のトラブル停止等、万が一の事態が生じた場合には、改めて節電目標を設定させて頂く可能性があります。



## 2. 節電の基礎知識

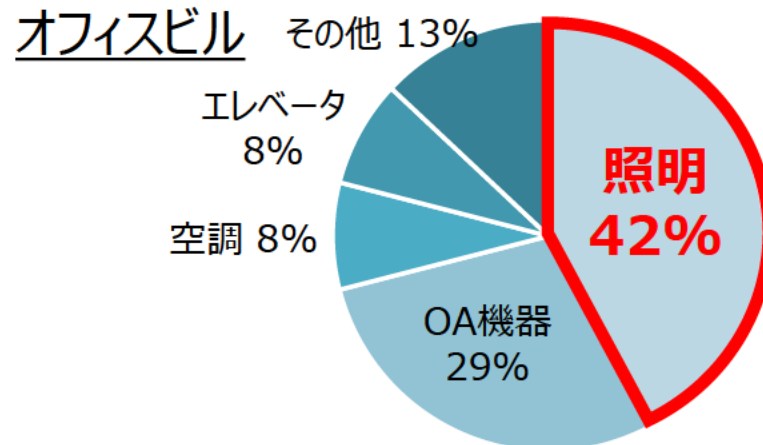
- 家庭・業務部門においては、照明の消費電力が占める割合が最大です。

### 家庭における消費電力

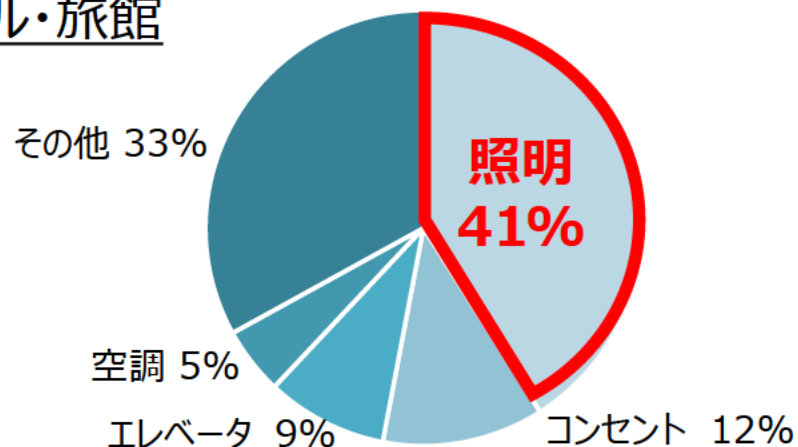


出典：資源エネルギー庁「冬季の節電対策メニュー（ご家庭の皆様）北海道電力管内」（平成27年10月）より作成

### 業務部門における消費電力



### ホテル・旅館






出典：資源エネルギー庁「冬季の節電メニュー（事業者の皆様）北海道電力管内」（平成27年10月）より作成




### 3. 家庭の節電のお願い

- 不要な照明をできるだけ消すとともに、テレビ等を省エネモードに設定していただくようお願いいたします。

#### 基本的な取組

タイプ	対策項目	節電効果目安
	不要な照明をできるだけ消す。 ※照明の3割程度を消灯した場合	7%
	省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げる。 ※標準→省エネモードに設定。	2%
	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。 ※食品の傷みにご注意ください。	2%

#### その他の取組

	温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。 上記の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを抜く。	どちらかで 1%
	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	3%
	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	3%

- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

## 4. 業務部門の節電のお願い（オフィスビル等）

- 昼光の最大限の活用等により執務エリアの照明を1/4程度消灯する、使用していない会議室や廊下等は消灯を徹底することをお願いします。

### 基本的な取組

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	執務エリアの照明を1/4程度消灯する。	7%
	使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する。	4%

### その他の取組

OA 機器	長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	3%
----------	--------------------------------------	----

- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

## 5. 産業部門の節電のお願い（製造業等）

- 使用していないエリアの消灯や、必要な生産を維持できる範囲内でのラインの稼働時間帯の調整による電力ピーク抑制等の対応をお願いします。

### 取組の例

タイプ	対策項目
照明	使用していないエリアでの消灯を徹底する。
生産設備	不要な電気設備の電源をオフにする。
稼働シフト	必要な生産を維持できる範囲内でのラインの稼働時間帯の調整による電力ピーク抑制。

## 6. 政府による節電への協力依頼の状況（全体）

- 震災後、家庭・業務・産業の各分野に対し、節電への協力を依頼。
  - ⇒ 家庭には、テレビや経済産業省ホームページ等を通じた広報を徹底
  - ⇒ 事業者には、経産省・他省の所管団体、北海道庁等を通じて要請

### 各部門での節電対策

#### ① 家庭（需要の5割）

家庭での消費電力量では、照明が最大。テレビ、冷蔵庫などの待機電力も多い。3割以上の消灯などの「家庭の節電対策メニュー」を、世の中に広く周知・広報。



**広報を徹底**  
(テレビ、HP、  
Twitter等)

#### ② 業務（需要の3割）

照明の割合が非常に大きい。団体や企業に対して、「事業者の節電対策メニュー」を周知し、執務エリアの照明の間引きや、使用していないエリアの消灯を徹底。



- **団体等を通じ要請**
- **大口需要家**  
**には個別連絡**

#### ③ 産業（需要の2割）

業種ごとに使用形態が異なる。関係省庁を通じた所管業界に対する節電要請とともに、道内の大口需要家に対する電話等の個別要請によって、最大限の対応。

# 7. 節電に係る広報（①全体像）

- 政府は、国民各層へ積極的な啓発活動を行い、節電に取り組む動きを国民運動として盛り上げていく。

- ✓ ホームページ、ツイッター等で節電に関する情報を発信（効果を分かりやすく提示）
- ✓ 参加型の国民運動の喚起（ダウンロード可能な節電ステッカーの活用など）

## 資源エネルギー庁・官邸HPでの広報

### 資源エネルギー庁HP



### 官邸 HP



※今後、リバイス予定

## 経産省ツイッターでの情報発信



### 節電サインの発信



## 節電ポスター・ステッカーの配布

ポスター

ステッカー（多言語）



## 自治体防災無線を通じた呼びかけ



## テレビテロップでの発信（マスコミの協力）





# 7. 節電に係る広報（②エネ庁ホームページでの広報の状況）

- 資源エネルギー庁ホームページにて北海道における節電に関する特設ページを開設。
- 節電メニューの紹介、ポスター・ステッカーの配布、節電サポーターの募集・公表等を実施中。

（掲載ページ） <http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/setsuden/>

## 節電メニューの紹介

家庭の節電メニューチェック (北海道)

今夏は政府としての節電要請は行わない見込みですが、「節電メニュー」から、ご家庭ごとに実施できるものをチェックしていただき、日々の省エネ・節電へお役立てください。

	1 不要な照明をできるだけ消す。 ※照明の3割程度を消灯した場合	7%
	2 省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	2%
	3 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。 ※食品の量みにご注意ください。	2%

## 節電ポスター・ステッカーの配布

節電中であることを説明するため、節電ステッカーや観光客向けの多言語に対応したポスターを配布



ポスター

ステッカー(多言語対応)

## 節電サポーターの募集・公表

節電の具体的な取組を最大限行うことで、節電タイム（平日8:30～20:30）に平常時より2割程度の節電に取り組まれている企業等をホームページで募集・公表（詳細は次ページ参照）

# 7. 節電に係る広報（③「節電サポーター」の募集・公表の状況）

- 節電への協力者を「節電サポーター」として、募集し、一覧をエネ庁HPに掲載。
- 9/8から募集開始し、14日17時時点で**397者を節電サポーターとして公表。**

(募集) <https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/enecho02/setsuden>

(公表) <http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/setsuden/supporter/>

## ■ 節電サポーターの要件

以下の①～⑤の取組を最大限行うことで、節電タイム（平日8:30～20:30）に平常時より2割程度の節電に取り組まれている企業等。

- ① 照明を半分程度間引きしていること
- ② 使用していないエリア（会議室、廊下等）や点灯が必ずしも必要ではない場所（看板や外部照明等）では、消灯を行っていること
- ③ 使用していないエリアでは、空調を停止していること
- ④ 長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにしていること
- ⑤ その他の節電の取組

## 節電サポーターの一覧の公表

北海道電力管内における節電協力のお願いについて

節電サポーター一覧（9月14日17時00分時点：397者）

フォトギャラリー・取組事例はこちら

私たちは北海道の電力不足に対応するため、平常時より2割以上の節電対策に協力しています！

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 株式会社シー・イー・ディー            | 札幌アポロ石油株式会社           |
| 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 北海道支店 | 鋼路コールドメイン株式会社         |
| T I S 北海道株式会社            | 株式会社パシフィックネット札幌支店     |
| アイ・ティ・エス株式会社             | 株式会社ネクスコ東日本リテール北海道事業部 |
|                          | 株式会社香本組               |

## 節電サポーターによる節電取組の写真の公表



# 7. 節電に係る広報（④節電率及び節電サインの定期配信）

- twitterを通じて、1時間ごとの節電の取組状況を分かりやすく発信。

節電タイム

節電サイン



今すぐアクションを！

需要減 8%未満

「今すぐアクションを」



もう一段節電を！

需要減 8%以上 10%未満

「もう一段節電を」



引き続き節電を！

需要減 10%以上 12%未満

「引き続き節電を」



需要減 12%以上

「引き続き節電を」

本日はありがとうございました。  
明日も節電のご協力を  
よろしくお願いいたします。



節電タイム以外

「本日はありがとうございました。明日のご協力もお願いいたします。」

twitterを用いた  
発信事例



## 8. これまでの家庭や企業における取組状況

- 道内では、各部門が節電に向けて、創意工夫のある取組を実践中。

### 家庭における取組の例

#### Twitterのハッシュタグ 「#北海道みんなで節電」に寄せられた取組例

- ✓ 照明の間引き
- ✓ 温水便座の電源停止
- ✓ 掃除機は使わず、雑巾を使って掃除
- ✓ 暖房は使わず、服を着こむ
- ✓ 常備菜を一度に作って、冷凍保存する
- ✓ テレビを省エネモードにする
- ✓ ポット、コーヒーメーカー、炊飯器のコンセント抜く
- ✓ 洗濯乾燥機、ドライヤーは節電タイムを避ける
- ✓ 昼間使った掃除機の充電を夜にする
- ✓ 夜間に充電したラジオを使用する



### 企業における取組の例

#### 「節電サポーター（※）」から 寄せられた取組例

※ 2割程度の節電にコミットする事業者（362者）

- ✓ 照明の間引き
- ✓ 空調の停止
- ✓ 自家発電機の使用
- ✓ 節電ポスター・ステッカーの掲示
- ✓ エレベーターの一部停止
- ✓ コピー機の稼働台数半減
- ✓ エアタオルの停止
- ✓ 自動ドアの解放
- ✓ 看板・電光掲示板の消灯
- ✓ ロープウェイの運行間隔拡大

照明の間引き、ステッカーの掲示



エレベーターの一部停止



自家発電機の使用



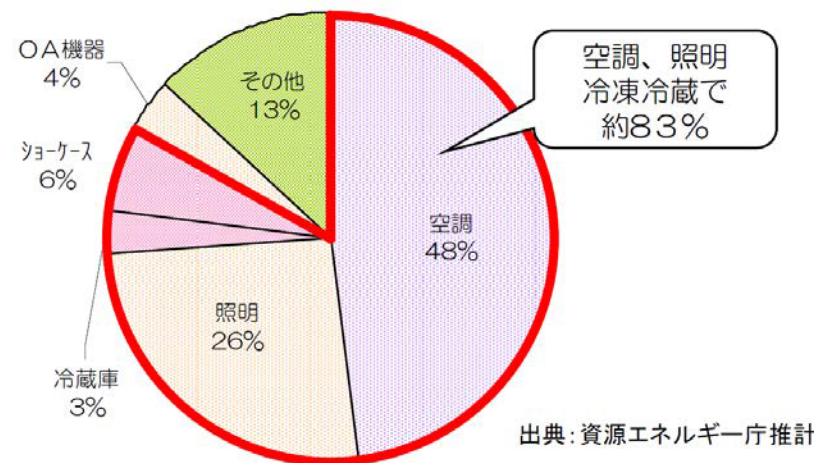
**分野別の取組のお願い**

# (1) 卸・小売店部門

- 卸・小売店においては、電力消費のうち、照明が約26%、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース等）が約9%を占めます。
- 卸・小売店の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における照明、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース等）の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

## 取組の例

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	店舗の照明を半分程度間引きする。	13%
	使用していないエリア（事務室、休憩室等）や不要な場所（看板、外部照明、駐車場）の消灯を徹底する。	2%
冷凍冷蔵	業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。	1%



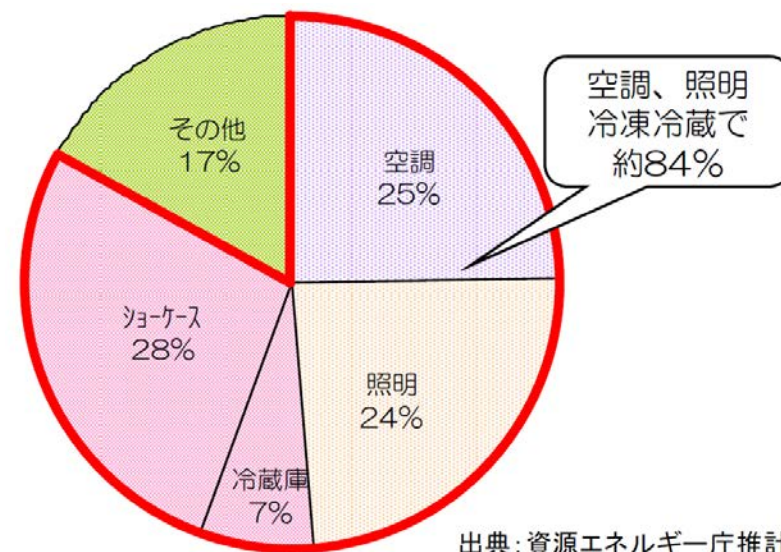
・複数の蛍光灯が付いている照明器具で間引く場合は、複数の蛍光灯をすべて外すことで、器具単位で間引いてください。

## (2) 食品スーパー部門

- 食品スーパーにおいては、電力消費のうち、照明（一般照明）が約24%、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース、ショーケース用照明等）が約35%を占めます。
- 食品スーパーの節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における照明、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース等）の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

### 取組の例

タイプ	対策項目	節電効果 目安
照明	店舗の照明を半分程度間引きする。	11%
	使用していないエリア（事務室、休憩室等）や不要な場所（看板、外部照明、駐車場）の消灯を徹底する。	2%
冷凍冷蔵	業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。	5%



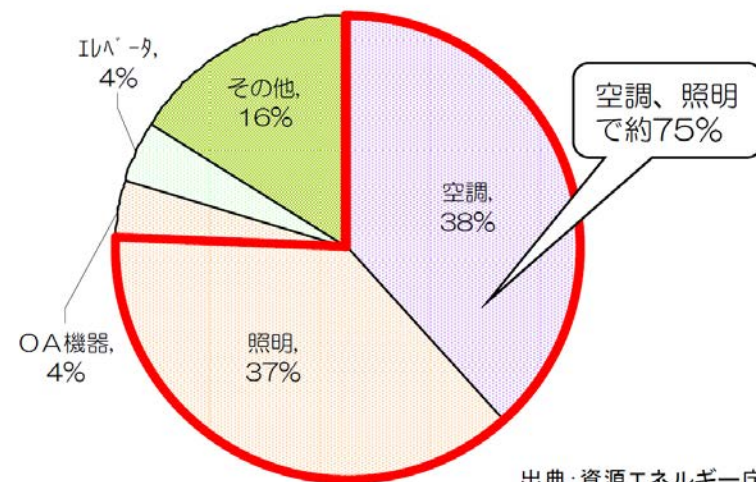
・複数の蛍光灯が付いている照明器具で間引く場合は、複数の蛍光灯をすべて外すことで、器具単位で間引いてください。

### (3) 医療機関部門

- 医療機関においては、電力消費のうち、照明が約37%を占めます。
- 医療機関の節電対策は、節電タイム(平日8:30~20:30)における照明の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

#### 取組の例

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	事務室の照明を半分程度間引きする。	4%
	使用していないエリア（外来部門、診療部門の診療時間外）は消灯を徹底する。	4%



出典:資源エネルギー庁推計

・複数の蛍光灯が付いている照明器具で間引く場合は、複数の蛍光灯をすべて外すことで、器具単位で間引いてください。

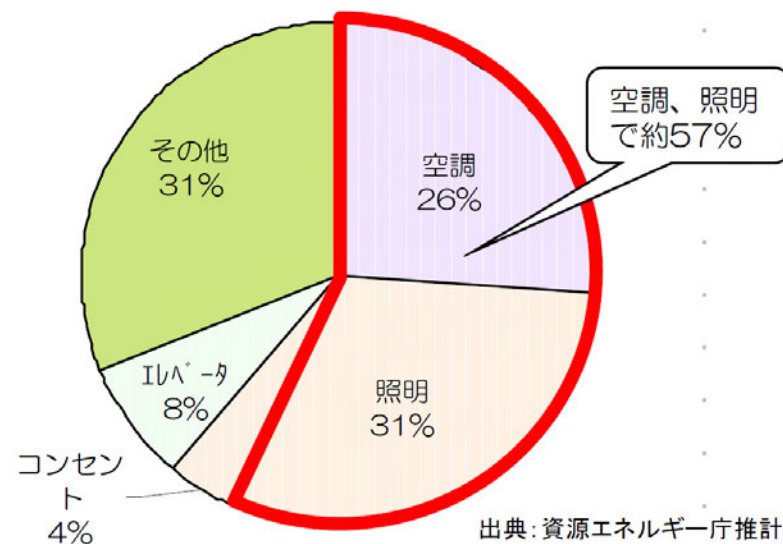


## (4) ホテル・旅館部門

- ホテル・旅館においては、電力消費のうち、照明が約31%を占めます。（照明の構成としては、概ね、客室：客室以外 = 1：7）
- ホテル・旅館の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における照明の電力使用を見直すことが非常に効果的です。
- 節電中であることを説明する外国語のポスターをエネ庁ホームページで配付します。

### 取組の例

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	客室以外のエリアの照明を半分程度間引きする。	13%



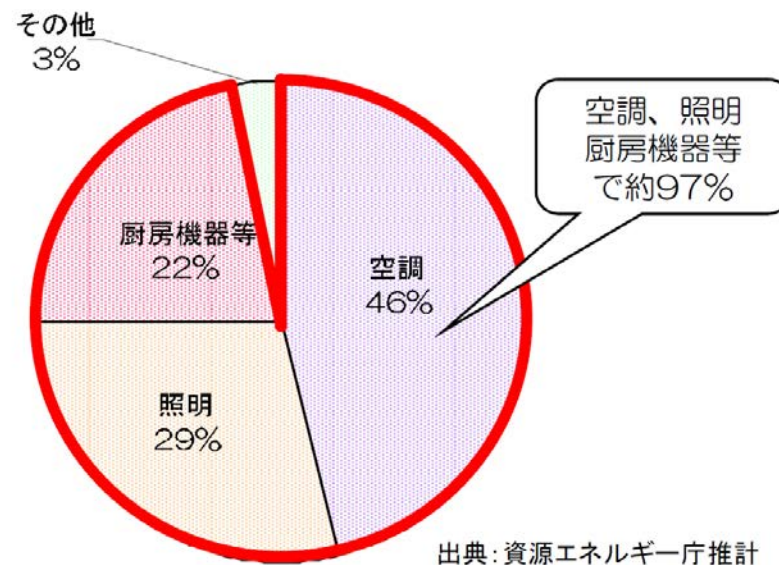
・複数の蛍光灯が付いている照明器具で間引く場合は、複数の蛍光灯をすべて外すことで、器具単位で間引いてください。

## (5) 飲食店部門

- 飲食店においては、電力消費のうち、照明が約29%、厨房機器等（給湯、冷蔵庫、ショーケース等）で約22%を占めます。
- 飲食店の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における照明、厨房機器等（給湯・冷蔵庫、ショーケース等）の電力使用を見直すことが非常に効果的です。  
※ピーク時間帯が営業時間外の場合でも、ピーク時間帯の節電に協力ください。

### 取組の例

タイプ	対策項目	節電効果 目安
照明	使用していないエリア（事務室等）や不要な場所（看板、外部照明等）の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする。	40%
厨房	冷凍冷蔵庫の庫内は詰め込みすぎず、庫内の整理を行うとともに、温度調節等を実施する。	3%



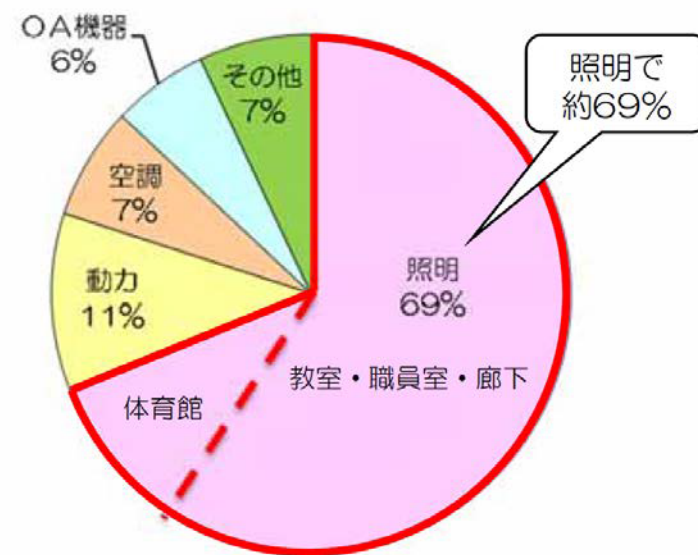
- ・ 飲食店は営業形態ごとに電力使用の形態が大きく異なることがあるため、各設備ごとの節電率を記載。
- ・ 複数の蛍光灯が付いている照明器具で間引く場合は、複数の蛍光灯をすべて外すことで、器具単位で間引いてください。

## (6) 学校部門

- 学校においては、照明が約69%を占めます。
- 小口需要家（小、中、高校）においては、教室部分に空調を設置していない場合が多いため、照明の比率が高くなっています。ただし、空調を設置している学校については、空調の比率が高くなります。
- 学校の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における照明の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

### 取組の例

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	教室、職員室、廊下の照明を間引きする。	16% (約4割減の場合)
	点灯方法や使用場所を工夫しながら体育館の照明を1 / 4程度間引きする。	2%



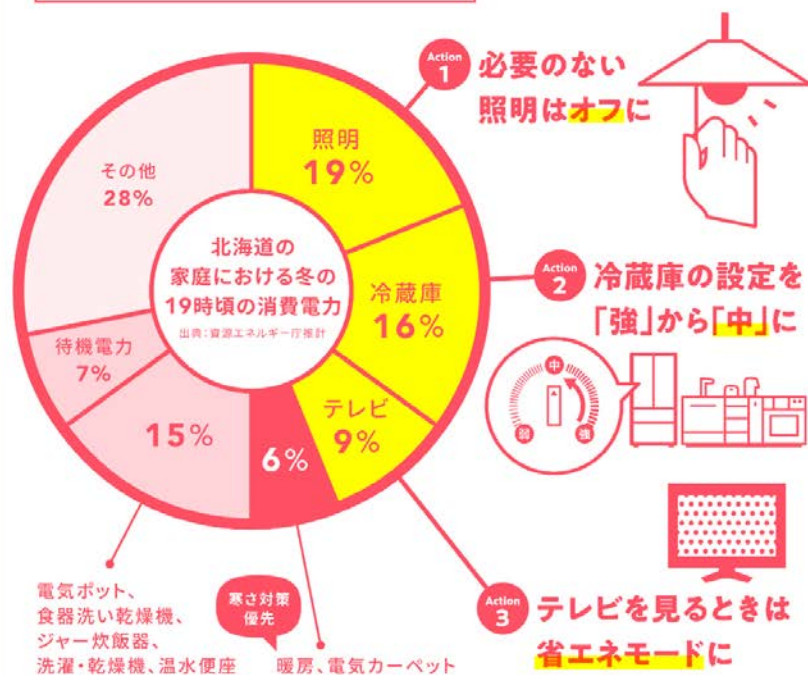
出典: 資源エネルギー庁推計

・複数の蛍光灯が付いている照明器具で間引く場合は、複数の蛍光灯をすべて外すことで、器具単位で間引いてください。

北海道のご家庭の皆さまへ

## ご家庭の節電対策は、

**照明、冷蔵庫、テレビ**の3つが効果的です。



08:30 引き続き、できる限りの節電をお願いいたします。 20:30  
—— 土日祝日は、節電もお休みを。 ——

平日の朝8時半から夜8時半が節電タイム

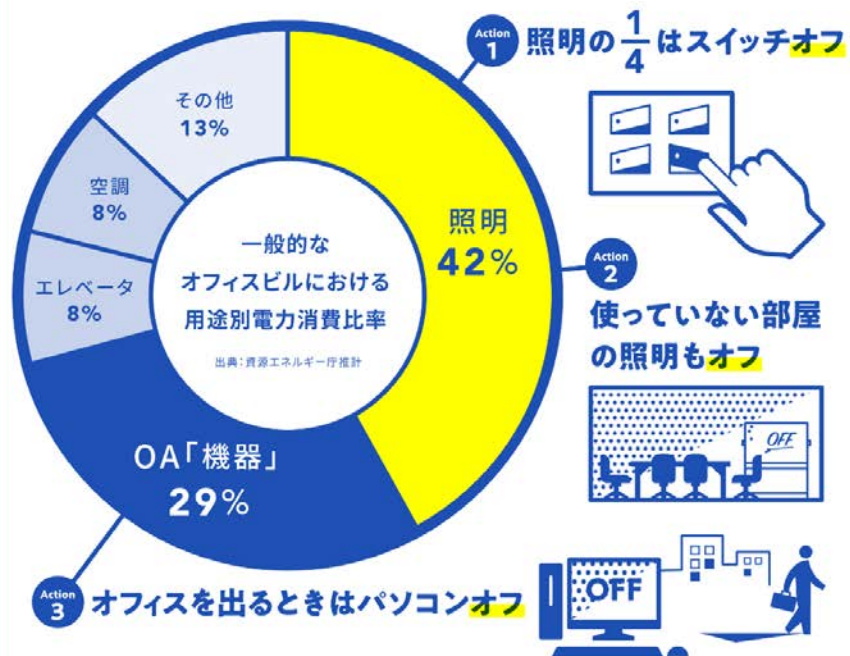
12:00

18:00

北海道の企業の皆さまへ

## 企業の節電対策は、

**照明を消す**のが効果的です。



08:30 引き続き、できる限りの節電をお願いいたします。 20:30

平日の朝8時半から夜8時半が節電タイム

12:00

18:00



# 節電中

Power Saving 省电

平日

Weekday 平日

北海道を訪問中の皆様へ

平成30年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震の影響により、北海道内において相当の供給力不足が発生することから、経済産業省より節電の要請を受けております。

ご不便おかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

Dear Hokkaido visitors

The Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) has requested all electricity users in Hokkaido to reduce their electricity consumption as much as possible to address the shortage of supply caused by the September 6, 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake.

Thank you for your understanding and kind cooperation.

各位旅客

9月6日发生的2018年北海道胆振东部地震导致了北海道内电力不足，因此经济产业省请求节电。

感谢您的理解与合作。